

カラー版は『<http://www.toyonaka-osa.ed.jp/cms/shonai-n/>』をご覧ください。

戦争の悲惨さ 平和の大切さ 命の尊さ について考える

1学期の取り組みから

【平和学習(5月29日)4時間目】

戦争や平和についての調べ学習を終えた6年生が、グループに分かれて、各クラスで授業をしました。

- ①パワーポイントで調べ学習の発表
- ②平和に関する絵本の読み聞かせ
- ③折り鶴の説明と作成

という内容でした。どのクラスでも6年生のお話に真剣に耳を傾ける姿が見られました。



【行ってきます集会(6月7日)】



修学旅行の前日、「行ってきます集会」が体育館で行なわれました。みんなで折った千羽鶴も披露され「ヒロシマへ行く意味」を全員で確認しました。6年生が思いをこめて歌った「平和のたね」が、体育館中に美しく響きみんなの心に届きました。

【ヒロシマ修学旅行(6月8日～6月9日)】

平和記念公園や平和資料館では、原爆の悲惨さや、核の恐ろしさについて学びました。平和の大切さが実感できたと思います。

平和セレモニーの様子⇒

【報告集会(7月20日)】



修学旅行での平和学習の報告を、1学期終業式の日に行いました。来年度、ヒロシマに行く5年生はもちろんのこと、4年生以下の児童にとっても、具体的にイメージができるわかりやすい説明でした。暑い中、おしゃべりも一切なく、集中して、しっかり発表が聞けたのは、本当に素晴らしいです。

【平和学習会(9月5日)】

フリージャーナリストの西谷文和さんから、ウクライナやアフガニスタンなど、戦時下にある国々のリアルについて映像をもとに、お話いただきました。戦争で傷を負った子どもたちを助けている「ドイツ国際平和村」のスタッフの存在や、紛争の続くアフガニスタンの砂漠に35年かけて水を引いた中村哲医師など、絶望的な状況でも希望を失わず平和貢献に力を注ぐ(注いだ)人々のことも知りました。



- *わたしは、まず、「こんなにふべんなんだなあ…」とおもいました。きずついた子どもやしんだ人がいっぱい、びっくりしました。わたしもおとなになったら、たくさんびょうきの人をたすけてあげたり、なにかできることをやってあげたいです。(1年)
- *かたいパンの上に虫がのってるのがわかったから、かわいそうでした。手とか足がなくなったのが、かわいそうでした。家がなくなるのが、かわいそうでした。家をつくってあげたい。きれいな水をあげたい。まちをへいわにしたい。(1年)
- *せんそうというのはとてもこわいので、自分の国でもおこったらいやだし、ほかの国もせんそうをしてほしくないし、けがもしてほしくないです。(2年)
- *せんそうがないへいわな国になりたいです。せんそうがなかったら、子どもたちもみんな、しあわせになれるのに、せんそうがあったら、みんなしあわせにならないからすごくかわいそう。だから、せんそうをとめたいと思います。(2年)
- *日本ではあるのがあたり前だけど、アフガニスタンでは、電気や水道がないのがあたり前だとわかった。1日1回しか食事ができないなんて、とてもくろうしていると思った。仕返しをしようとは思わず、みんなでいっしょにはたきたいと思える国はステキだと思う(3年)
- *ウクライナとロシアが戦争をしているのは知っていたけど、アフガニスタンなどほかの国も戦争をしているのは、初めて知りました。中村哲さんがとても広い砂漠に、用水路を作ったのがすごいなと思いました。今日の平和学習で、改めて「日本にいる私たちはとても恵まれていて、幸せなんだな」と思いました。「学校に來れていること、三食ご飯を食べられていること」にとっても感謝したいです。(4年)
- *今日のお話を聞いて、戦争はしてはいけないことだと、より実感しました。戦争は、人の心も体も傷つけ、絶望をあじわわせ、幸福を人から奪い、全てを焼き尽くしてしまう。人の命を、何億も奪い、勝ったとしても何がいいのか私にはわかりません。平和になって、すべての人に、食べ物や着るもの、水、健康、教育、幸せをわたしたいです。(4年)
- *戦争というものは、マイナスなことしかないのに、何故やるのかわからない。戦争で食料や家、人の命が奪われている。人々にとって迷惑である。だから、日本は、戦争をやめて、今は世界の人々を助けているんだなと思いました。ぼくは、「ドイツの平和村」がすごいと思います。アフガニスタンに用水路をつくり、大勢の命を救った中村さんも、本当にすばらしい方だと思います。(5年)
- *国が勝手にやり始めた戦争にまきこまれている人たちがかわいそうだなと思った。そして、私たちも「関係ないから」と見ているのではなく何かできることがあるのではないかなと思った。この悲しい戦争を、周りの人たちに知らせたりして、一人ではできないことも、多くの人たちと力を合わせれば大きなことを達成できるのではないかな?と思うことができた。やっぱり、平和が一番だなと思いました。(5年)
- *西谷さんのお話を聞いて、戦争について、もう一度考えることができました。今まで、日本の戦争について学ぶことがほとんどだったので、今回のように外国の戦争について学ぶことができて本当に良かったです。戦争で傷ついた子どもたちの傷を治したり、心を癒したりしている人たちがいるということがどれだけ大切なことか気づかされました。戦争で敵対するのではなく、手を取り合い支えあうことが大切だなと思いました。(6年)
- *戦争をしている国に行って、命をかけて動画をとって、皆に知らせてくれる西谷さんや他のジャーナリストの人はずいぶんすごいなと思いました。小さくて幼いのに、目をそむけるほどのケガをしているのを見て、心がすごく痛くなりました。戦争が終わって、もっと平和になればいいなと思いました。(6年)